

キンメダイの蓄養技術の開発

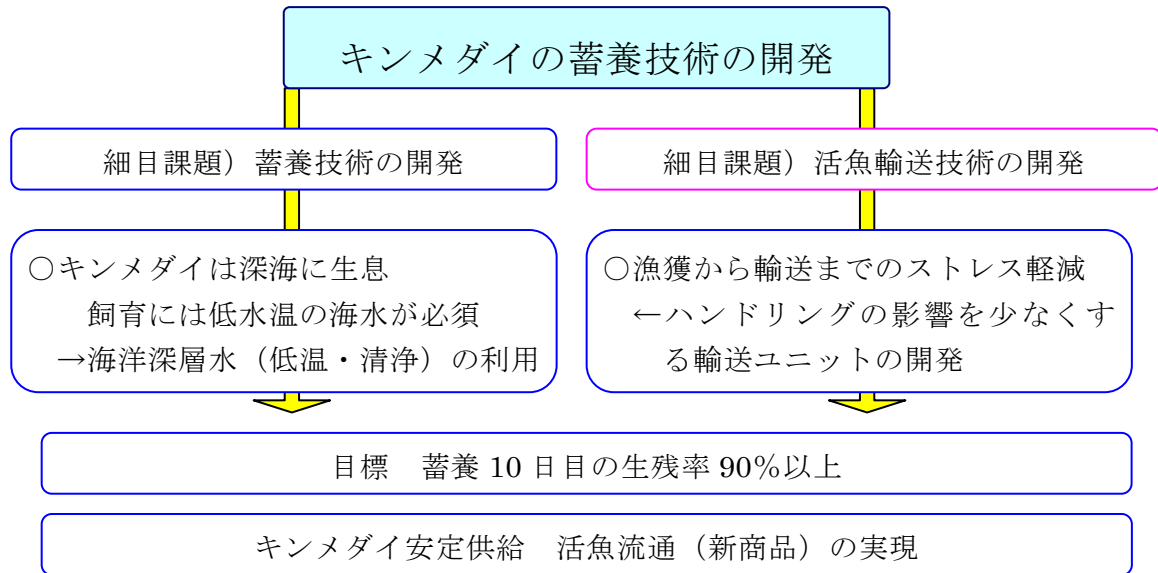
(新成長戦略研究 ふじのくに農水産物の品質・競争力向上と輸出拡大技術の開発)

(予算区分 県単独 研究期間 平成28～30年度)

担当：水産技術研究所伊豆分場 野田浩之 長谷川雅俊

【研究の背景とねらい】

伊豆地域でキンメダイを漁獲対象とする漁船の数は多く、また、観光資源としての役割も大きい魚です。現状、伊豆のキンメダイは、伊豆半島から伊豆諸島周辺で漁獲されており、漁獲物はすべて鮮魚として流通しており、漁模様によっては品不足になることもあります。陸上水槽でキンメダイを活かしたままストックする技術が開発できれば、漁模様に左右されずに周年安定供給が可能となり、さらには従来にはなかった伊豆ならではの新商品の提供等が可能となるため、蓄養技術について研究します。



研究の全体イメージ図

【期待される効果】

- ・キンメダイ蓄養技術の開発によって、漁模様に左右されずに周年安定供給が可能となり、従来にはなかった伊豆ならではの新商品の提供等によって、さらなるブランド力の向上が期待されます。
- ・開発した技術は、栽培漁業の実現にむけて親魚養成にも応用が可能となります。

【年次計画】

細目課題	28年度	29年度	30年度
○キンメダイ蓄養技術の開発	○	○	○
○キンメダイ活魚輸送技術の開発		○	○

(作成 平成28年4月)